

白壁

第05号 平成28年12月1日発行
題字 福井陽子



受験／冬季休業に向けて

出願プラン確定、センター対策に集中

3年生

3年生は今、センター試験に向けて猛勉強中ですが、同時に出願プランを最終的に詰めている段階です。国公立であれば前期・後期（中期）の出願組み合わせを2〜3パターン、私大については併願・専願を問わず、試験日程・方式を吟味し出願数をプランニングする必要があります。受験費用や交通費、受験日程に無理がないかなど、保護者と共に考え確認すべきことがたくさんあります。私大については出願受け付け時期が迫っています。先日配付した「出願パターン登録シート」を作成して担任・保護者と確認の上、遅くとも12月16日（土）までに願書を取り寄せてください。

修学旅行を控え、そちらに気持ちが向きますが、修学旅行が終われば「受験生」モードに突入です。第一志望を貫く覚悟を決める時期であり、また推薦やAO入試の受験についても真剣に考えなければなりません。「覚悟と戦略」が年末年始のキーワードです。医学科志望者はいよいよMプロジェクトが本格始動します。

受験生としての「覚悟と戦略」

2年生

1年生は冬季休業までのこの時期に不得意科目の補強と休業中の学習計画、講習の予習など、やらなければならぬことがたくさんあります。体験活動は、長期休業中ではなければできません。アンテナを高くし、計画性をもって今日から着手してください。

自分を鍛えて、伸ばす冬

1年生

特集

進路志望の具体化とは？【文系学部編】



進路目標を明確化させる

2年生は修学旅行が終わればいよいよ「受験生」としての準備期に移行します。そのことを自覚した上で、自身の志望大学・学部についてしっかりと検討してください。しかし、ただ「しつかり」と言われても、途方に暮れる人がほとんどでしょうから、学部別に考えるヒントをいくつか提示したいと思います。今までは異なる視点、広い視野、深い考察をおこなってください。なお、1年生についても、自分の文理選択が安易な理由、漫然とした理由でなかったかどうか、これを参考に最終確認してください。

【法学部】将来弁護士や裁判官など、法曹界で活躍したいと考えている人は当然「法学科」への進学を考えていると思います。司法試験を受けるには「法科大学院」へ進むのが一般的です。その合格率が何パーセントか、

ということも進学先を選ぶ上で重要になってきます。国立・私立を問わず、サポート体制の充実度なども勘案しましょう。いずれにせよ法学科は難関学部なので、現実問題として浪人も視野に入れる必要があります。法曹界で働くのではなく、広く法学を学び、それを活かして各界で活躍したいと考えているのであれば、政治・社会系の学部学科も視野に入れておきましょう。いずれにせよただ「つぶしがきくから」といった漫然とした意識で法学科を選ぶことのないようにしてください。

■合格者20名以上の法科大学院 合格率順位

	受験者	最終合格	合格率%
一橋大法科大学院	127	63	49.6
東京大法科大学院	285	137	48.1
京大法科大学院	222	105	47.3
慶應義塾大学法科大学院	350	155	44.3
神戸大法科大学院	127	41	32.3
中央大学法科大学院	462	136	29.4
九州大法科大学院	125	36	28.8
大阪大法科大学院	157	42	26.8
名古屋大法科大学院	136	34	25.0
東北大法科大学院	96	23	24.0
北海道大法科大学院	128	30	23.4
首都大学東京法科大学院	128	25	19.5
立命館大法科大学院	213	29	13.6
明治大法科大学院	297	36	12.1

●法務省「平成28年司法試験法科大学院別合格者数等」を元に作成。

http://www.moj.go.jp/jinji/shihoushiken/jinji08_00126.html

	1 学年	2 学年	3 学年
12 月・1 月 の目標	冬休みを活かす工夫を!	受験生への意識転換	集中してセンター試験対策に向かう

【人文学部】昨今にわかに学科再編がおこなわれている人文学部。それに伴って学科名が変更されており、学べる学問について注意・確認が必要です。学部に入ってから決めるコース・ゼミまで詳しく調べたうえで選択肢の一つにして欲しいところです。意外に知られていないのは、「教員養成系大学」のなかに、人文系の学びができる課程・コースが設置されているということだ。こうしたコースはいわゆる「0 免」と呼ばれ、教員免許取得が卒業要件とならないため、実質的には人文系学科と違ってよい課程です。興味のある人は教員養成系大学を詳しくリサーチしてみてください。

【国際・グローバル系学部】2016 年の千葉大学国際教養学部の新設に代表されるように、最近のトレンドといえる学部です。しかし、国際・グローバルという「看板」だけで安易に選んでいないでしょうか。「人文学部」でも同様のことを学ぶことができるのではないかとあるいは、「国際〇〇学部」の中心をよく見てみたら自分の学びたいことと違っている、などということはないだろうか？表面的なものに流されず、実質をとらえたうえで選択したいものです。

【経済系】さてみなさん、経営学部・商学部（大学によっては「学科」）の違いがわかりますか？その上でしっかり進路志望選択をしていますか？「とりあえず経済にでも」という消去法的な意識のまま進学すると、こんなはずではなかった、と戸惑うことになりかねません。

まず、「経営学部（学科）」ですが、これは

企業（組織）運営にとって必要なヒト・モノ・カネに関して総合的に研究し、学ぶという視座の学科です。「商学部」は「流通（マーケティング）」「会計」といった、より実際の知識・技能に焦点をあてた学部であり、経営学部よりもより実学的要素が強いのが特徴です。国立では一橋大学商学部・小樽商科大学などが有名です。ちなみにこれらの大学は官立の「高等商業学校」が前身です。

「経済学部」は、「経営学」「商学」の基盤

まだまだ伸びる！ではなく、 まだまだ伸ばす！ 進路部主任◎齋藤郁子

最近、「センター試験まで間に合いますか？」という問をよく聞くようになりました。もちろん伸びます。青高生は、ここから点数を伸ばします。でも、「なあんだ！伸びるのか！」と考えてはだめ。自分で「伸ばす」のです。「伸ばすためにどうするか」を考えるのです。そのためには戦略が必要です。自分はどの科目でどの力が足りないのかを冷静に分析し、対策に優先順位をつけることが大切です。

昨年度の先輩の例を少しだけ下に掲載しました。文型では 706 点から 796 点へ点数を伸ばした先輩もいます。また、11 月には 432 点だった点数を 654 点まで、222 点も伸ばした例もありました。理型でも同様に 747 点から 817 点へ 70 点伸びた人も、532 点から 706 点へと大きく点を伸ばした例もあります。

100 点は伸ばす！覚悟を決めよう。

12/1月の進路行事

12月3・4日	学力向上セミナー(青森大, 1・3年希望者)
12月14日	東大指導講演会(3年)
12月18日	駿台センタープレ(アスパム, 3年希望者)
12月19～23日	冬期講習(1・2年 5日間)
12月19～26日	冬期講習(3年 6日間)
12月27・28日	センターパック模試(3年)
1月4～6日	冬期講習(全学年 3日間)

●全統11月マーク模試からの伸び

	(昨年度の例)		
	全統11月マーク	センター	伸び
文	706	796	90
文	642	749	107
文	533	676	143
文	574	668	94
文	432	654	222
文	461	611	150
理	747	817	70
理	665	746	81
理	549	709	160
理	532	706	174
理	502	654	152
理	532	652	120

をなす、人間社会における経済活動の仕組みや構造を学び、ものも見かた、考え方を研究し、身につける学部です。やや抽象的ですが、それだけに、めまぐるしい変化に対応するための基軸となる普遍的な学問と言えるでしょう。なお、数学を用いる学問領域であるということも念頭に置くこと。個別試験科目に「数学」が課せられることが多いのは、そういう理由からです。